

ワーディング～ことばも意識していますか？～

01 ワーディング(Wording)とは



質問文で使われる言葉の用法のことです。質問文の言葉遣いひとつで調査結果が大きくゆがむ可能性があるため、十分に注意する必要があるとされています。

02 ワーディングの問題

調査結果にゆがみを生じさせるワーディングの問題として、以下のようなものがあります。

- あいまいな言葉 ～「それって具体的にどれくらい？」
難解な言葉 ～「質問の意味がわからない…」

【あいまいな言葉】

- × 「しばしば、ときどき」「たくさん、少し」 など
- ◎ 「週に○回、月に○回」「○個、○冊、○g」など

【難解な言葉】

- × 専門用語、業界用語 など
- ◎ どうしても使用する場合はわかりやすい説明をつける

→人により解釈が異なる言葉や回答者が知らない言葉は使用を避ける

- ダブル・バーレル質問※ ～「どっちの論点を答えればいいの？」

- × 勉強や運動は好きですか。(一方は好き、もう一方は嫌いな人は回答しにくい)
- ◎ 問1 勉強は好きですか。 問2 運動は好きですか。

→質問文を分け、1つの質問文につき1つの論点とする

※ダブル・バーレル質問:1つの質問文に複数の論点が含まれている質問

- 誘導質問 ～「そう言われればそうかも…」

- × $\left[\begin{array}{l} \triangle\triangle \text{という意見が一般的ですが、} \\ \triangle\triangle \text{という専門家の意見がありますが、} \end{array} \right]$ あなたは○○をどう思いますか。
- ◎ 前置きの内容が回答に影響するため、記載しない。

- × 問1 あなたは○○について△△だと知っていますか。
問2 あなたは○○に対してどのようなイメージを持っていますか。
- ◎ 問1の質問内容が問2の回答に影響するため、順序を入替えまたは離して配置。

→不要な文章は質問文に記載しない・質問文の順序や配置も考慮する

03 挑戦してみましょう！

下記の質問文には避けるべき、または十分な注意が必要とされる箇所があります。回答者の立場で考えてみましょう。

- あなたは週にどれくらいの頻度で福井駅に行きますか。
ア いつも イ しばしば ウ ときどき エ 全く行かない
 - あなたは東尋坊や一乗谷朝倉氏遺跡に行ったことがありますか。
・行ったことがある ・行ったことがない
 - インバウンドに詳しいX大学のY教授によれば、日本を訪れる外国人の消費拡大が経済活性化には不可欠ですが、あなたはナイトタイムエコノミーの推進に賛成ですか、それとも反対ですか。
・賛成 ・反対 ・どちらともいえない
 - 問1 あなたは福井県のブランドガニ「越前がに」を知っていますか。
・知っている ・知らない
- 問2 あなたは「福井県の実産物」と聞いて何をイメージしますか。
ア かに イ かい い ウ ふぐ エ その他



(解説)

- 回答の選択肢があいまいな言葉となっているので、「週に〇回」などとしします。
- ダブル・バーレル質問となっているので、質問文を分ける必要があります。
- 前置きで専門家の見解を明示することで回答に影響を与える可能性があります。また「ナイトタイムエコノミー」は広く知られている言葉とはいいがたいので、使うのであれば説明が必要です。
- 問1により、問2で「ア かに」を選ぶ回答が増える可能性があります。

ちなみに「ナイトタイムエコノミー」とは午後6時から翌朝6時までの経済活動のことです。

今回は、質問文におけるワーディングの問題についてご紹介しました。調査実施の際は、質問文の言葉遣いや順序一つで回答者に影響を与えうることにも気を付けましょう。

【参考文献】

- ・統計データ利活用センター「Data StaRt」<https://www.stat.go.jp/dstart/>
- ・酒井 隆「アンケート調査の進め方(第2版)」日経文庫
- ・盛山 和夫「社会調査法入門」有斐閣

